

〔記入注意〕 この実務経歴書は勤務先（自営業を含む）毎に作成し、今までの建築に関する実務の経歴について登録に必要な業務内容を年代順に記入してください。なお、記載内容の記入不備や疑義が生じた場合、再提出や追加書類の提出を求めることになり、登録が遅れる場合があります。また、虚偽の実務経歴を記載した場合、建築士法上の措置や登録が認められない場合もあります。

私は、二級・木造建築士の免許を受けたいので、建築実務の経歴を下記の通り記載し、併せて第三者が当該書類の内容が事実と相違ないことを確認したことを証する実務経歴証明書を提出します。

私は、下記事項が真実で、かつ正確であることを誓います。

令和〇〇年 〇〇月 〇〇日

茨城県知事

茨城県指定登録機関

一般社団法人茨城県建築士会

殿

氏名 建築 士郎
(自 署)

勤務先等

勤務先(部課名まで)	所在地(番地まで)	在職期間の合計	
		年月～年月	年月数
株式会社〇〇建築設計事務所 〇〇部 〇〇課	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地	H30年 4月～ R3年 6月	3年3月
在職期間		地位職名	建築実務の内容(建築士法施行規則第一条の二)
年月～年月	年月数		
H31年4月～R3年3月	2年 0月	技師	建築物の工事監理に関する実務
年 年～ 年 月	年 月		
年 年～ 年 月	年 月		

建築実務の詳細

建築実務経験期間の合計

2 年 0 月

	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
(1)	S 邸	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地	H31年 4月～R1年 7月	100 %	0年 4月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等) 〔 2B-01 〕 専用住宅(木造2階建て、延べ面積140㎡)の新築工事において、工事監理補助を担当した。				
(2)	Y 邸	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地	R1年 8月～R2年 1月	100 %	0年 6月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等) 〔 2B-01 〕 専用住宅(鉄筋コンクリート造3階建て、延べ面積200㎡)の新築工事において、工事監理補助を担当した。				
(3)	〇〇マンション	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地	R2年 2月～R3年 3月	100 %	1年2月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等) 〔 2C-01 〕 共同住宅(鉄筋コンクリート造10階建て、延べ面積1,500㎡)の新築工事において、工事監理補助を担当した。				

(A4)

実務経歴証明書

令和〇〇年 〇〇月 〇〇日

茨城県知事
茨城県指定登録機関 殿
一般社団法人茨城県建築士会

株式会社〇〇建築設計事務所

証明者 登録 太郎 印

〇〇県知事登録 第〇〇号
〇〇建築士登録 第〇〇号

住所・所在地 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地

電話番号 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

担当 (株)〇〇建築設計事務所 〇〇部 免許一郎
TEL 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

免許申請者との関係 申請者が所属する建築士
事務所の管理建築士

下記の者が申請した二級・木造建築士免許申請書に添付された実務経歴書は、事実と相違のないことを証明します。

記

1. 免許申請者氏名 建築 士郎

2. 建築実務経験

建築実務経験期間の合計： 2 年 0 月

建築実務の内容：

- ・専用住宅(木造2階建て、延べ面積 140 m²)の新築工事の工事監理補助を担当。
- ・専用住宅(鉄筋コンクリート造3階建て、延べ面積 200 m²)の新築工事の工事監理補助を担当。
- ・共同住宅(鉄筋コンクリート造 10 階建て、延べ面積 1,500 m²)の新築工事の工事監理補助を担当。

備考

- この実務経歴証明書は、実務経歴書毎に作成すること。
- 使用者その他これに準ずる者が実務経歴書の内容が事実相違ないことを確認したことを証明すること。
- 虚偽の証明を行った場合、証明者は、建築士法上の処分や告発の対象となり得ます。